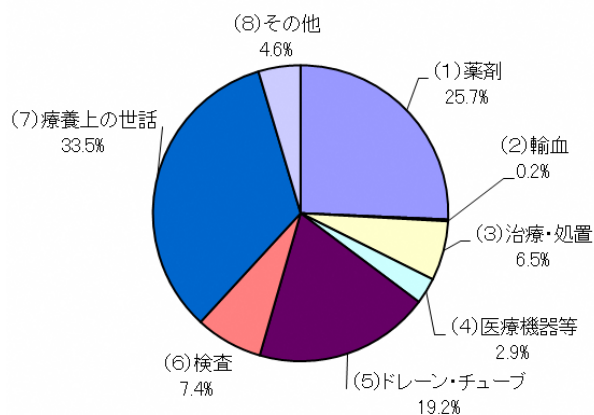


●平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)
患者さんに影響があった、あるいはその可能性があったインシデント

概要		
項目	件数	%
(1)薬剤	755	25.7
(うち与薬に関するもの)	(641)	(21.8)
(2)輸血	6	0.2
(3)治療・処置	191	6.5
(4)医療機器等	84	2.9
(5)ドレーン・チューブ	566	19.2
(6)検査	217	7.4
(7)療養上の世話	986	33.5
(うち転倒・転落)	(487)	(16.6)
(8)その他	136	4.6
合計	2941	100.0



平成29年度、職員から2941件のインシデント報告がありました。3大インシデントは薬剤に関するもの、転倒・転落がドレーン・チューブ類に関するものと例年と同様でしたが、薬剤に関するものは若干減少しました。

重要な事例については再発防止のため、関連部署や関連する委員会などと、原因究明や対策について検討しています。

●**入院中の転倒・転落防止** 元気な人でも転びます。入院するとさらに転びやすくなります。健康であっても、65歳以上の35～40%の人が1年間のうちに1度は転倒すると言われています。

入院中はベッドの上での生活が中心となり、ベッドに数日寝ているだけでご自分が思っているよりも筋力は低下します。検査や治療による体調の変化や、筋力低下でつまづいて転倒した際に骨折したり、頭を打ったりして思わぬケガをすることがあります。

入院環境の整備の一部として、スリッパでない履き物のご用意をお願いします。

入院生活の履物を見直そう！



◆入院中のスリッパ履きは危険です。
履きなれた靴を持参しましょう。

●医療安全川柳:テーマ「転倒・転落」

11月25日の医療安全の日を含む日曜から土曜までの1週間は医療安全推進週間です。平成29年度は、「転倒・転落」をテーマに医療安全川柳に取り組みました。

院内32部署から医療安全川柳が投稿され、来院された方々の人気投票(183票)などから優秀作品を選びました。投票にご協力頂き、ありがとうございました。

宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

薬剤部

減らそうよ
多剤内服
転ぶもと

事業管理者賞



宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

7階東
緩和ケア病棟

大丈夫
気と体は
うらはらよ

患者さん・病院を
利用される皆様からの
投票による優秀賞



宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

看護部

忙しい
止める勇氣と
待つ余裕

医療安全対策室長賞

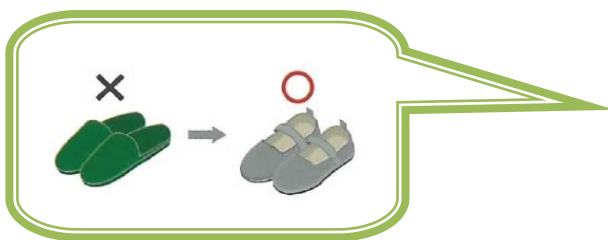


宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

外来

笑いとくつ
すべらないのが
どっちもいい

病院長賞

ポスター掲示やリーフレット配布にて、「入院中の履き物は靴タイプを選ぶ」ことも啓蒙しました。